

① パリ講和会議で ヴェルサイユ条約 ② 国際連盟 ③ アジアカンティーン からの抵抗運動

第一次世界大戦の
のこを
理解しよう!!

歴史要点プリント⑦ 第6部 第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き② 教科書 p198~201

<ついに第一次世界大戦終了> 勝利したのは… (① 連合国) 側

◎1919年 (② パリ講和会議) …第一次世界大戦終結後の話し合い

・(③ ヴェルサイユ条約) が結ばれる…ドイツなど敗戦国に厳しい内容
【内容】 巨額の賠償金、軍備の縮小、植民地の放棄

・④ ウィルソン (アメリカ大統領) による 民族自決 の提唱

→東ヨーロッパ諸国の独立

→アジア・アフリカで (⑤ 民族自決) を求める動きが活発化

→三・一独立運動
→五・四運動
→カンティーン運動など

★1920年 (⑥ 国際連盟) の成立 (本部: ⑦ ジュネーブ (スイス))

・世界初の国際平和組織

・設立の提案者: ⑧ ウィルソン (アメリカ大統領)

・事務局次長: ⑨ 新渡戸稲造

・常任理事国 (イギリス・フランス・イタリア・日本)

※ (⑩ アメリカ) は不参加、ドイツ・ソ連は加盟を認められず
→パリ不在など課題も多し強さを
→モロコシは
→世界平和の(イギリス)にイザヤハート
→結局 第二次世界大戦 が
→おこしてしまう…

<第一次世界大戦後にアジアで起こった運動>

◎朝鮮

1919年 ③月 ①日 (⑪ 三・一独立運動) …京城 (ソウル) で独立を宣言

- ・朝鮮各地に広がる→警察や軍隊を動員して鎮圧
- ・朝鮮統治の転換 (武断政治から文治政治へ)

→どうも日本が閉められてくる
[朝鮮] 三・一独立運動 (日本からの独立を目標)
[中国] 五・四運動 (二十一ヶ条の要求に対する
不満からおこった)

◎中国

パリ講和会議で (⑫ 二十一ヶ条の要求) の取り消しを求めたが、受け入れてもらえなかった

中国 (⑬ 山東省) の旧ドイツ権益は引き続き日本のもの

1919年 ⑤月 ④日 (⑭ 五・四運動) …北京で抗議行動が起こり、中国国内に広がる

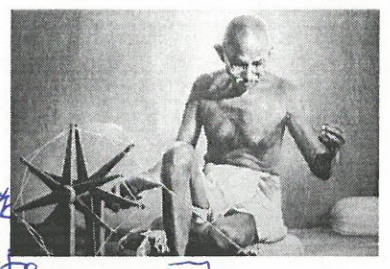
◎インド

インドは (⑮ イギリス) の植民地
→戦後、民族運動を弾圧



(⑯ ガンディー)
らの抵抗運動

非暴力・非服従
の運動だったよ



<ワシントン会議と国際協調>

・1921~22年 (⑰ ワシントン会議) …海軍軍備の制限、日英同盟が解消

・中国の主権尊重、領土保護⇒日本は、(⑱ 山東省) の旧ドイツ利権返還

- ・国際協調の推進→ (⑲ パリ不戦) 条約
- (⑳ ロンドン海軍軍縮) 条約
- ・ソ連・中国の国際連盟加盟

⑲ P.137
を見よう
おこ

世界が
軍縮宿
・
平和の方向へ
向かって
いくよ!!